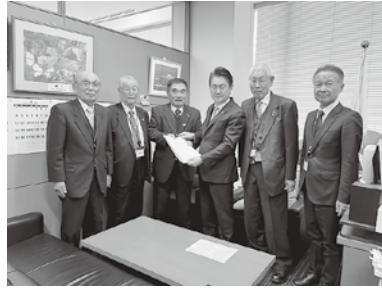


第八十回全国戦没者遺族大会に参加

令和7年12月5日(金)、東京の自由民主党会館で、全国の戦没者遺族代表約三百人が参集し、国会議員176人が出席して、第80回全国戦没者遺族大会が開催され、令和8年度政府予算に語り部事業を始め、要望事項が完全実現するよう決議がなされました。県連盟からは、三宅理事長をはじめ5名の役職員を派遣いたしました。



本県参加者は、大会終了後、地元選出自民党国会議員に対し、同大会の決議事項が実現するよう、要望活動を行いました。(山下貴司先生事務所にて)

第十二回特別弔慰金支給のご案内

特別弔慰金は、戦没者の死亡当時のご遺族で、令和7年4月1日時点で遺族年金などを受けられない場合に支給されます。戦没者の子や兄弟姉妹のうち、支給順位の最も高い方が対象となります。対象の方が複数

おられる場合は、代表の方が一人が受け取れます。
 ■支給内容・額面27万5千円の記名国債(5年償還)
 ■請求期限・令和10年3月31日
 ■支給の対象となる親族の範囲や請求手続きなどに関する詳しい内容は、お住まいの市町村の介護担当課又は岡山県庁福祉企画課 介護課(TEL:086-267320)へお問い合わせ下さい。

「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝事業の実施

県連盟では、岡山県の補助事業として沖縄地域戦跡慰霊巡拝を54名の参加を得て、11月3日(水)から14日(金)の2泊3日の日程で実施しました。2日目の11月13日(木)には、午前11時から糸満市摩文仁の丘に建立された「岡山の塔」で、来賓として金平陽子岡山県知事代理、遠藤康洋岡山県議会議長をはじめ、沖縄県からは県知事や県議会議長、糸満市長のそれぞれ、その代理、我部政寿沖縄県遺族連合会長ら約70名の参列のものと、沖縄並びに南方諸地域の岡山県出身戦没者追悼式を執り行いました。式では、三宅禎浩県連盟理事長が式辞を述べ、続いて岡山県知事や県議会議長が追悼の辞を述べ、その後参列者全員で献花



(追悼式・上・式辞を述べる三宅理事長、下・献花する遺族)

「平和の語り部」県内各地の小学校で

岡山県遺族連盟では、戦争の悲惨さや平和の尊さを身をもって体験した遺族の記憶を次世代に伝える「平和の語り部」事業に取り組んでいます。

◎9月29日(備前市日生東小)

備前市遺族連合会の山下桂正会長は、地元の日生東小学校6年生16人に「長く続いた戦争と



人々のくらしや戦争の歴史について、語り部が話をし、子どもたちはメモを取ったり、質問を投げかけたりしていました。この活動を通じて、子どもたちは戦争の残酷さや平和の大切さを学びました。

◎1月21日(岡山中央小学校) 県連盟は、岡山中央小学校の依頼で、波多豊子県女性部長と森勝子西大寺女性部長に同小学校6年生約140人に語り部をお願いたしました。昭和の歴史を学ぶ際のタイピングに合わせた、岡山空襲体験や父が戦没した沖縄戦の様子等を語った。



◎1月29日(総社市山手小学校)

総社市遺族連合会は、山手小学校からの依頼を受け、塩出裕衛会長代行と横田秀夫副会長の二人が6年生約60人に自らの体験を語った。同連合会では、今回の依頼をきっかけに、全役員に自分史アンケートを発行し、それぞれをもち、その後語り部活動の本格化をさせることとしていく。



◎学校での取組(12月以降)

- 12月... 矢掛町矢掛小、備前市日生西小
- 1月... 井原市西江原小、岡山市灘崎小、倉敷市琴浦南小
- 2月... 井原市芳井小、高梁市高梁小、備前市西鶴山小